



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月17日

上場会社名 株式会社マースグループホールディングス
 コード番号 6419 URL <http://www.mars-ghd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期 | 14,760 | 34.6 | 1,130 | 70.2 | 1,533 | 64.2 | 807 | 64.9 |
| 2020年3月期 | 22,562 | 7.3 | 3,799 | 19.0 | 4,286 | 16.0 | 2,300 | 110.1 |

(注) 包括利益 2021年3月期 2,026百万円 (29.0%) 2020年3月期 1,571百万円 (448.0%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2021年3月期 | 48.32 | | 1.6 | 2.6 | 7.7 |
| 2020年3月期 | 137.78 | | 4.5 | 7.3 | 16.8 |

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期 | 57,961 | 52,297 | 90.2 | 3,131.56 |
| 2020年3月期 | 58,422 | 51,439 | 88.0 | 3,080.23 |

(参考) 自己資本 2021年3月期 52,297百万円 2020年3月期 51,439百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2021年3月期 | 2,599 | 590 | 1,168 | 23,228 |
| 2020年3月期 | 4,217 | 3,703 | 1,343 | 22,371 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2020年3月期 | | 45.00 | | 35.00 | 80.00 | 1,335 | 58.1 | 2.6 |
| 2021年3月期 | | 35.00 | | 35.00 | 70.00 | 1,168 | 144.9 | 2.3 |
| 2022年3月期(予想) | | 35.00 | | 35.00 | 70.00 | | 64.9 | |

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 8,400 | 22.0 | 1,000 | 634.6 | 1,180 | 474.8 | 720 | 1,071.4 | 43.11 |
| 通期 | 18,000 | 21.9 | 2,400 | 112.3 | 2,800 | 82.6 | 1,800 | 123.0 | 107.78 |

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2021年3月期 | 22,720,000 株 | 2020年3月期 | 22,720,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2021年3月期 | 6,020,024 株 | 2020年3月期 | 6,020,024 株 |
| 期中平均株式数 | 2021年3月期 | 16,699,976 株 | 2020年3月期 | 16,699,976 株 |

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| (重要な後発事象) | 14 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い経済や社会活動が制限され、大きく影響を受けました。緊急事態宣言解除後、政府や自治体は様々な施策で経済活動の持ち直しを図っているものの、第2波、第3波と感染拡大の波が繰り返されており、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、従業員とその家族、ステークホルダーの安全に配慮しつつ、当社グループはアミューズメント関連事業、自動認識システム関連事業、ホテル関連事業の各事業を通じてお客様の「満足」を勝ち取るために新たな付加価値の追求をしてまいりました。また、アミューズメント関連事業の販売体制を見直し、責任と権限を明確化するとともに地域に密着したサービスを提供するため、グループ会社の再編を行いました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による消費低迷で市場は冷え込み、営業活動は厳しい状況となりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高147億60百万円（前期比34.6%減）、営業利益11億30百万円（同70.2%減）、経常利益15億33百万円（同64.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益8億7百万円（同64.9%減）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

[アミューズメント関連事業]

アミューズメント関連事業の主な販売先であるパチンコ業界は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、期初の緊急事態宣言時には全国の殆どのパチンコホールが営業活動を自粛し、大幅に落ち込みました。その後は、感染予防対策を実施しつつ営業活動を再開し、徐々に遊技客数の回復をみせているものの、感染再拡大の懸念もあり先行き不透明な状況が続きました。加えて、規則改正等に対応した遊技機への入れ替えも控えているため、業界を取り巻くホールの経営状況は依然として厳しく、新規出店や大規模な改装は限定的となりました。

このような状況の中、当社グループは、責任と権限を明確化するとともに地域に密着したサービスを提供するため、販売体制を見直し、㈱マースシステムズ東日本・㈱マースシステムズ東海・㈱マースシステムズ西日本の3社販売体制へ移行しました。

主力のパーソナルPCシステム及び遊技データ等の収集・AI分析が可能なパーソナルPCシステム「マースユニコン」は、パチンコホールが抱える人手不足や人件費の高騰等の経営課題を改善し、少人数でのホール運営を実現するシステムとして広く認知されております。また、感染リスクが伴う状況においては、遊技客と従業員の接触回数を減らせるとして再注目されておりますが、周辺設備の更新需要が低迷する状況下において販売活動は厳しいものとなりました。当連結会計年度におけるパーソナルの売上実績は22店舗、当連結会計年度末時点における導入（実稼働）店舗数は累計1,565店舗（市場シェア21.2%）となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は25店舗、導入（実稼働）店舗数は累計1,720店舗（市場シェア23.3%）となりました。

Air紙幣搬送システム及びハイスペックモデルの立体Air紙幣搬送システムは、空気の力で紙幣を搬送する業界随一のシステムであり、導入によりセキュリティの強化やホール業務の省力化が期待されています。既存のユーザーだけでなく他社ユーザーの獲得にもつながっておりますが、新規出店や改装に慎重になっている状況において導入件数は伸び悩みました。

感染症リスクが伴う状況においては、接客による感染を抑制できる「セルフPOS」が注目され、導入が進みました。加えて、カードの自動除菌ができる「全自動カードクリーナー」を開発し、パチンコホールだけでなく、ホテルや病院等、業種を問わず、カードを取り扱う施設向けに販売を行いました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、87億82百万円（前期比38.4%減）、セグメント利益は15億72百万円（同53.9%減）となりました。

[自動認識システム関連事業]

自動認識システム関連事業における市場は、第4次産業革命（Industry 4.0）によりIoT、ビッグデータ、人工知能（AI）、ロボット等が浸透し、昨今ではデジタルトランスフォーメーション（DX）が注目を浴び、インフラ分野での推進が期待されております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で国内外の経済活動は低迷し、設備投資需要の動きは鈍化しましたが、その一方でテレワークや遠隔操作、セキュリティ関連は、感染拡大を契機として需要が高まりつつあります。

自動認識システムは、RFID、バーコード、X線検査装置等を媒体として各種データを精査しながら自動的に取り込み・認識ができるため、当社グループでは特にFA市場、流通市場、アミューズメント市場、健診市場を中心に提案販売活動を行ってまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、設備投資の需要が後退したことや営業活動が制限されたことから販売活動は厳しい状況となりました。

健診市場向けクラウドプラットフォームサービスの第一弾として、健康診断・人間ドック向けの間診入力システム「どこでも問診」を開発し、本格的に販売を開始いたしました。従来は、健康診断や人間ドックを受診する際に、受診者が紙の問診票に記入していましたが、受診者が持つスマートフォンやパソコンから事前に登録できるようになります。また、各健診機関にとって運用上の負担となっていた「記入内容の確認」や、「整合性の確認」、「記入漏れのチェック」等の作業が大幅に軽減され、今後の健診市場向けプラットフォームとして拡販に努めてまいります。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、47億46百万円（前期比23.3%減）、セグメント利益は4億37百万円（同42.9%減）となりました。

[ホテル関連事業]

ホテル業界は、新型コロナウイルス感染症が世界的に感染拡大した影響で、国内外の旅行者数は大きく落ち込み、経営環境は急激に悪化いたしました。期初の緊急事態宣言解除後は、政府による「GoToキャンペーン」等の各種施策の効果もあり、段階的に回復してきましたが、感染の再拡大に伴うGoTo EATやGoToトラベルの停止、2度目の緊急事態宣言等もあり、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、「マースガーデンホテル博多」及び「マースガーデンウッド御殿場」は、緊急事態宣言時に稼働率が大幅に低下しましたが、政府による各種施策等の効果もあり、段階的に回復してきました。その後、繰り返される感染拡大の波により、先行きに対する不透明感は払拭されず、本格的な回復には至りませんでした。

関連事業のレストランは、ホテルと同様に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、営業の自粛や営業時間の短縮等、営業活動は制限され、厳しい状況が続きました。

この結果、ホテル関連事業の売上高は、12億31百万円（前期比41.6%減）、セグメント損失は6億24百万円（前期は1億41百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産の残高は、579億61百万円（前連結会計年度末584億22百万円）となり、4億60百万円減少しました。

流動資産の残高は、327億6百万円（前連結会計年度末340億34百万円）となり、13億27百万円減少しました。減少の主な内訳は、受取手形及び売掛金（48億29百万円から33億32百万円へ14億96百万円減少）であります。

固定資産の残高は、252億55百万円（前連結会計年度末243億88百万円）となり、8億66百万円増加しました。増加の主な内訳は、投資有価証券（79億58百万円から97億28百万円へ17億69百万円増加）であります。

流動負債の残高は、32億27百万円（前連結会計年度末41億68百万円）となり、9億40百万円減少しました。減少の主な内訳は、支払手形及び買掛金（17億94百万円から11億66百万円へ6億28百万円減少）、未払法人税等（3億89百万円から2億41百万円へ1億47百万円減少）であります。

固定負債の残高は、24億37百万円（前連結会計年度末28億14百万円）となり、3億77百万円減少しました。減少の主な内訳は、リース債務（8億21百万円から6億40百万円へ1億81百万円減少）、退職給付に係る負債（6億84百万円から5億12百万円へ1億71百万円減少）であります。

純資産の残高は、522億97百万円（前連結会計年度末514億39百万円）となり、8億57百万円増加しました。その増加の主な内訳は、その他有価証券評価差額金（△12億84百万円から△2億49百万円へ10億34百万円増加）であります。

自己資本比率は、90.2%（前連結会計年度末88.0%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、232億28百万円となり、前連結会計年度末より8億57百万円増加しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、25億99百万円（前連結会計年度末は42億17百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益15億7百万円、売上債権の減少額14億96百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、5億90百万円（前連結会計年度末は37億3百万円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出3億95百万円、有形固定資産の取得による支出1億円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、11億68百万円(前連結会計年度末は13億43百万円の支出)となりました。これは配当金の支払額11億68百万円によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

| | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 2021年3月期 |
|-----------------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率(%) | 86.5 | 88.0 | 90.2 |
| 時価ベースの自己資本比率(%) | 62.0 | 49.0 | 47.6 |

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・ガバレッジ・レシオは、算定の基礎となる期末有利子負債が発生していないため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の経済の見通しにつきましては、世界中で新型コロナウイルス感染症の拡大が続いており、収束の見通しが立っていないことから、当面はその影響を受けて経済活動の制限や消費の落ち込み等、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

アミューズメント関連事業におきまして、主要販売先であるパチンコ業界は、新型コロナウイルス感染症の影響で営業活動が制限され、また、規則改正等に対応した遊技機への入れ替えの対応も迫られているため、設備投資の買い控えが継続するものと思われま。当社グループは、省力化を実現するシステムやソリューションの提供を通してホール運営をサポートしてまいります。

自動認識システム関連事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で需要が落ち込む分野もありますが、一方で伸びている分野もあり、業容の拡大と新しい付加価値の提供で拡販に努めてまいります。

ホテル関連事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が著しく、厳しい状況が続くものと予想されます。現在の状況を打破すべく販売体制の見直しやブランドの定着に向けた取り組みを実施してまいります。

当社グループは、新製品・新サービスの投入、コストの削減等で既存事業の強化を図りつつ、M&Aの活用や新事業の創出で事業領域を広げ、持続的な成長と企業価値の向上を図ってまいります。

以上により、次期の連結会計年度の業績は、売上高180億円(前期比21.9%増)、営業利益24億円(同112.3%増)、経常利益28億円(同82.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益18億円(同123.0%増)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要政策の一つと考えております。長期的な視野に立ち、安定的で継続した企業成長を図るため、財務体質の強化を図りながら、株主の皆様に対しては安定的で適切な配当を行うことを基本に経営目標である配当性向30%を鑑みて利益配分を行うことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、安定成長に向けた財務体質の強化、新規事業を開拓すべく研究開発の強化、情報管理体制強化に向けた社内インフラの整備、他社との業務提携やM&A等に有効利用し、企業競争力と企業価値の向上を図りたいと考えております。

当期の配当金につきましては、1株当たりの期末配当金を35円とし、中間配当金35円と併せて1株当たりの年間配当金は70円とさせていただきます。

次期の配当金につきましては、内部留保資金があることや安定的で適切な配当を行うことを基本とする当社方針に従い、1株当たりの中間配当金を35円、期末配当金を35円とし、1株当たりの年間配当金を70円とする予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 22,371,032 | 23,228,825 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,829,694 | 3,332,781 |
| 営業貸付金 | 1,817,771 | 1,652,741 |
| リース債権及びリース投資資産 | 841,811 | 666,760 |
| 有価証券 | 349,895 | 349,930 |
| 商品及び製品 | 1,923,379 | 1,569,820 |
| 仕掛品 | 221,669 | 157,332 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,064,800 | 1,054,945 |
| その他 | 614,855 | 693,773 |
| 貸倒引当金 | △389 | △341 |
| 流動資産合計 | 34,034,520 | 32,706,570 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 13,241,289 | 13,334,287 |
| 減価償却累計額 | △7,113,317 | △7,469,972 |
| 建物及び構築物(純額) | 6,127,971 | 5,864,314 |
| 機械装置及び運搬具 | 421,418 | 406,044 |
| 減価償却累計額 | △346,960 | △345,533 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 74,458 | 60,511 |
| 工具、器具及び備品 | 3,448,133 | 3,455,448 |
| 減価償却累計額 | △3,242,090 | △3,270,555 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 206,042 | 184,892 |
| 土地 | 6,692,857 | 6,686,658 |
| リース資産 | 363,064 | 325,594 |
| 減価償却累計額 | △129,332 | △81,719 |
| リース資産(純額) | 233,732 | 243,875 |
| 建設仮勘定 | 21,674 | — |
| 有形固定資産合計 | 13,356,737 | 13,040,251 |
| 無形固定資産 | 182,589 | 275,254 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,958,856 | 9,728,222 |
| 繰延税金資産 | 1,648,002 | 1,088,524 |
| その他 | 1,341,233 | 1,366,269 |
| 貸倒引当金 | △98,973 | △243,121 |
| 投資その他の資産合計 | 10,849,120 | 11,939,894 |
| 固定資産合計 | 24,388,447 | 25,255,400 |
| 資産合計 | 58,422,967 | 57,961,970 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当連結会計年度 (2021年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,794,479 | 1,166,078 |
| リース債務 | 453,534 | 459,539 |
| 未払法人税等 | 389,668 | 241,783 |
| 賞与引当金 | 422,356 | 345,761 |
| その他 | 1,108,561 | 1,014,727 |
| 流動負債合計 | 4,168,600 | 3,227,889 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 821,946 | 640,378 |
| 役員退職慰労引当金 | 168,850 | 191,640 |
| 退職給付に係る負債 | 684,088 | 512,588 |
| 資産除去債務 | 51,395 | 60,768 |
| その他 | 1,088,268 | 1,031,668 |
| 固定負債合計 | 2,814,548 | 2,437,043 |
| 負債合計 | 6,983,149 | 5,664,933 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,934,100 | 7,934,100 |
| 資本剰余金 | 8,371,830 | 8,371,830 |
| 利益剰余金 | 49,009,478 | 48,647,496 |
| 自己株式 | △12,315,383 | △12,315,383 |
| 株主資本合計 | 53,000,025 | 52,638,043 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,284,155 | △249,865 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △276,051 | △91,141 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,560,207 | △341,006 |
| 純資産合計 | 51,439,818 | 52,297,036 |
| 負債純資産合計 | 58,422,967 | 57,961,970 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 22,562,827 | 14,760,826 |
| 売上原価 | 10,843,765 | 6,723,487 |
| 売上総利益 | 11,719,062 | 8,037,339 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,919,073 | 6,906,728 |
| 営業利益 | 3,799,989 | 1,130,611 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 439,189 | 420,196 |
| 雇用調整助成金 | — | 58,090 |
| その他 | 60,778 | 82,767 |
| 営業外収益合計 | 499,968 | 561,054 |
| 営業外費用 | | |
| 投資事業組合運用損 | 10,487 | 10,920 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 147,348 |
| 為替差損 | 3,450 | — |
| 営業外費用合計 | 13,937 | 158,268 |
| 経常利益 | 4,286,020 | 1,533,397 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 4,566 | — |
| 土地売却益 | — | 800 |
| 特別利益合計 | 4,566 | 800 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 25,946 |
| 投資有価証券評価損 | 705,607 | 484 |
| 役員退職慰労金 | 33,600 | — |
| 特別損失合計 | 739,207 | 26,431 |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,551,379 | 1,507,766 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,222,913 | 573,843 |
| 法人税等調整額 | 27,474 | 126,906 |
| 法人税等合計 | 1,250,387 | 700,750 |
| 当期純利益 | 2,300,991 | 807,016 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,300,991 | 807,016 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 2,300,991 | 807,016 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △707,399 | 1,034,290 |
| 退職給付に係る調整額 | △22,493 | 184,909 |
| その他の包括利益合計 | △729,893 | 1,219,200 |
| 包括利益 | 1,571,098 | 2,026,216 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 1,571,098 | 2,026,216 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|-------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 7,934,100 | 8,371,830 | 48,044,487 | △12,315,252 | 52,035,164 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,336,000 | | △1,336,000 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 2,300,991 | | 2,300,991 |
| 自己株式の取得 | | | | △130 | △130 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 964,991 | △130 | 964,860 |
| 当期末残高 | 7,934,100 | 8,371,830 | 49,009,478 | △12,315,383 | 53,000,025 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|------------------|-------------------|------------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当期首残高 | △576,756 | △253,557 | △830,313 | 51,204,851 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △1,336,000 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 2,300,991 |
| 自己株式の取得 | | | | △130 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △707,399 | △22,493 | △729,893 | △729,893 |
| 当期変動額合計 | △707,399 | △22,493 | △729,893 | 234,967 |
| 当期末残高 | △1,284,155 | △276,051 | △1,560,207 | 51,439,818 |

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|-------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 7,934,100 | 8,371,830 | 49,009,478 | △12,315,383 | 53,000,025 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,168,998 | | △1,168,998 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 807,016 | | 807,016 |
| 自己株式の取得 | | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | △361,981 | — | △361,981 |
| 当期末残高 | 7,934,100 | 8,371,830 | 48,647,496 | △12,315,383 | 52,638,043 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|------------------|-------------------|------------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当期首残高 | △1,284,155 | △276,051 | △1,560,207 | 51,439,818 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △1,168,998 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 807,016 |
| 自己株式の取得 | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 1,034,290 | 184,909 | 1,219,200 | 1,219,200 |
| 当期変動額合計 | 1,034,290 | 184,909 | 1,219,200 | 857,218 |
| 当期末残高 | △249,865 | △91,141 | △341,006 | 52,297,036 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,551,379 | 1,507,766 |
| 減価償却費 | 472,369 | 533,849 |
| 減損損失 | — | 25,946 |
| 引当金の増減額(△は減少) | △56,923 | 90,295 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 89,336 | △171,500 |
| 受取利息及び受取配当金 | △447,747 | △426,746 |
| 投資事業組合運用損益(△は益) | 10,487 | 10,920 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | — | △800 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △4,566 | — |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 705,607 | 484 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 747,653 | 1,496,912 |
| 営業貸付金の増減額(△は増加) | 1,182,276 | 165,030 |
| リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加) | △185,324 | 164,908 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 252,094 | 427,750 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △623,613 | △628,401 |
| リース債務の増減額(△は減少) | 142,007 | △175,562 |
| その他 | △366,720 | 33,645 |
| 小計 | 5,468,316 | 3,054,498 |
| 利息及び配当金の受取額 | 448,127 | 427,132 |
| 法人税等の支払額 | △1,698,758 | △882,328 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,217,685 | 2,599,302 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,766,482 | △100,669 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 7,000 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,073,662 | △395,700 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 6,948 | — |
| 貸付金の回収による収入 | — | 86,258 |
| その他 | 130,041 | △187,376 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,703,155 | △590,489 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △130 | — |
| 配当金の支払額 | △1,343,365 | △1,168,088 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,343,496 | △1,168,088 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △405 | 17,068 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △829,371 | 857,793 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 23,200,404 | 22,371,032 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 22,371,032 | 23,228,825 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは「アミューズメント関連事業」、「自動認識システム関連事業」及び「ホテル関連事業」の3つを報告セグメントとしております。

「アミューズメント関連事業」は、主にアミューズメント関連施設向け周辺機器の製造、販売及びサービスの提供を行っております。

「自動認識システム関連事業」は、主に医療、教育、図書館、FA分野においてRFIDやバーコード等を活用した自動認識システムの提供を行っております。

「ホテル関連事業」は、福岡市博多区にて営業中の「マースガーデンホテル博多」及び静岡県御殿場市にて営業中の「マースガーデンウッド御殿場」のホテル経営を行っております。また、関連事業として、マースガーデンホテル博多内に直営レストラン「海鮮処博多松月亭」、東京銀座にはマースガーデンウッド御殿場で人気のレストラン「鉄板焼銀明翠GINZA」を営業しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 2 |
|------------------------|----------------------|----------------------|-------------|------------|--------------|----------------------------|
| | アミューズ メント 関連事業 | 自動認識 システム 関連事業 | ホテル 関連事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,266,024 | 6,186,767 | 2,110,035 | 22,562,827 | — | 22,562,827 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 664,173 | 143,168 | 33,070 | 840,412 | △840,412 | — |
| 計 | 14,930,198 | 6,329,935 | 2,143,106 | 23,403,240 | △840,412 | 22,562,827 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 3,407,160 | 766,291 | △141,913 | 4,031,539 | △231,549 | 3,799,989 |
| セグメント資産 | 25,813,618 | 8,022,026 | 5,142,829 | 38,978,474 | 19,444,493 | 58,422,967 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 313,027 | 58,996 | 192,886 | 564,910 | — | 564,910 |
| 有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 | 2,720,903 | 30,700 | 186,020 | 2,937,623 | — | 2,937,623 |

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△231,549千円には、セグメント間取引消去3,900千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△235,449千円が含まれております。
- (2) セグメント資産の調整額19,444,493千円には、セグメント間取引消去△72,320千円、及び各報告セグメントに配分していない全社資産等19,516,814千円が含まれております。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の項目のうち、減価償却費と有形固定資産及び無形固定資産の増加額については長期前払費用を含んでおります。

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 2 |
|------------------------|----------------------|----------------------|-------------|------------|--------------|----------------------------|
| | アミューズ メント 関連事業 | 自動認識 システム 関連事業 | ホテル 関連事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,782,367 | 4,746,557 | 1,231,900 | 14,760,826 | — | 14,760,826 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 623,621 | 55,850 | 35,098 | 714,571 | △714,571 | — |
| 計 | 9,405,989 | 4,802,408 | 1,266,999 | 15,475,397 | △714,571 | 14,760,826 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 1,572,243 | 437,242 | △624,316 | 1,385,168 | △254,557 | 1,130,611 |
| セグメント資産 | 25,617,107 | 7,863,340 | 4,736,629 | 38,217,077 | 19,744,893 | 57,961,970 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 319,086 | 54,756 | 227,547 | 601,391 | — | 601,391 |
| 有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 | 339,478 | 66,524 | 31,534 | 437,536 | — | 437,536 |

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△254,557千円には、セグメント間取引消去4,593千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△259,150千円が含まれております。
- (2) セグメント資産の調整額19,744,893千円には、セグメント間取引消去△1,880,821千円、及び各報告セグメントに配分していない全社資産等21,625,714千円が含まれております。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の項目のうち、減価償却費と有形固定資産及び無形固定資産の増加額については長期前払費用を含んでおります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

| | アミューズメント 関連事業 | 自動認識システム 関連事業 | ホテル関連事業 | 全社・消去 | 合計 |
|------|------------------|------------------|---------|-------|--------|
| 減損損失 | — | — | 25,946 | — | 25,946 |

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 3,080.23円 | 3,131.56円 |
| 1株当たり当期純利益 | 137.78円 | 48.32円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) |
|----------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 2,300,991 | 807,016 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 2,300,991 | 807,016 |
| 期中平均株式数(株) | 16,699,976 | 16,699,976 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。